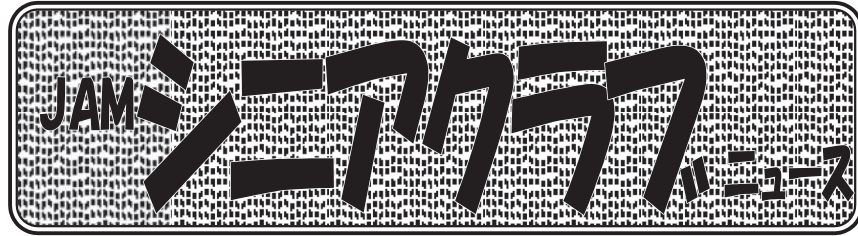


地域組織の確立で
会員間の絆の促進を



第112号

発行日 2016年12月25日

発行者 JAMシニアクラブ

mail jam-senior@jam-union.jp

発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本部門 〒105-0014 電話03-3451-2650 fax03-5440-7389

要請行動をふまえた発言相次ぐ

退職者連合「介護保険制度学習会」を開催

年金に続き介護保険制度の議論

11月7日、退職者連合は、介護保険制度をめぐめる問題の学習会を連合会館で開催し、産別や関連組織から80人が参加した。JAMから大山、豊泉、畑山（千葉）、新田（神奈川）の4人が参加した。

講師の厚労省竹林課長が介護保険制度の問題点と社会保障審議会介護保険部会での検討内容を紹介。地域実態の把握や介護人材の確保、軽度介護者への支援内容や用具・住宅改修などサービスや負担について説明を加え、地域包括ケアシステムの推進と持続可能な制度づくりが重要な視点と強調した。介護問題は自治体要請の重点項目で

あり、年金に続き取り組む姿勢を示した。質疑では、①要請行動で小さい市町村ほど人材不足であることが分かった。県が責任をもつて人材養成すべきだ。②地域包括ケアシステムでは医療と介護の連携を市町村が主体となって進めていくことが重要だ。③無届け有料老人ホームの厚労省集計とNHK集計が違う。この差はどういうことか。④消費税10%への引き上げが延期になったことで社会保障費が締めつけられひずみが生まれている。⑤安倍政権は介護離職ゼロを謳っているが介護休暇を取れないのが現状で制度はあっても使えないのが実態だ。⑥訪問介護では生活援助と身体介護を切り離して考えることに問題がある、等要請行動をふまえた指摘が続いた。

津田弥太郎さんに感謝する会開く

多くの活動実績に賛美の拍手

11月16日、東京品川区のホテルで「津田弥太郎さんに感謝する会」が開催され、146人の出席者が2期12年にわたる津田弥太郎さんの議員活動の労をねぎらった。シニアクラブからは三役が出席した。発起人の神津連合会長、相原JCM議長、細野豪志衆議院議員、JAM宮本会長と来賓の厚労省二川一男事務次官が議員時代の裏話やエピソードを笑いも交えながら津田さんの活躍と実績を披露した。

同時に、シニア組織が行う社会保障政策・制度要求の進め方の難しさを再認識するとともに、当組

消費税アップ延期による

年金・医療・介護への影響を考える

長野シニアクラブ会長 山田 一六

このような状況の中で、7月20日、長野県高退連が実施した研修会において、講師の津田弥太郎前参議院議員は、消費税アップの延期が影響する具体例として、軽減税率の採用は「総合合算制度」の完全実施が出来なくなることを、



主張

混合診療の採用・拡大は「医療格差の拡大」をもたらすこと、国の介護費用節減のため2017
支給開始年齢の引き上げが進むであろうと紹介した。このような年金・医療・介護への具体的な影響を知り、7月の参議院議員選挙にあたって、与野党とも民意をおもんばかり、消費税アップの延期をたのびたいと決意した。

身の当面の具体的な活動として、最も身近な地域圏・医療圏ごとに制度化・実施される「地域包括ケアシステム」の運営に的を絞って、チェック・改善・フォローを積極的に進めたいと決意した。

長い間で苦労様でした。

岐阜 総会と結成15周年記念式典開く 20年へ向けて新たな飛躍を

傍鳴 征夫通信員

10月22日(土) 岐阜



キャッスルインホテルで、総勢60人が参加し、第16回岐阜JAMシニアクラブ総会及び結成15周年記念祝賀会を開

総会進行役に戸川幸一議長を選出、北村務会長の挨拶に始まり、来賓のJAMシニアクラブ大山会長、JAM東海・高田執行委員長、三重シニアクラブ稲森眞文会長よりご祝辞を頂き、活動報告、収支決算及び会計監査報告を承認、その後、中島勲事務局長が2017年度の運動方針(案)を提案した。

運動方針案では九州、近畿、東北地方等で水害や地震災害が発生し多くの方が犠牲になられ、いまだに避難生活を余儀なくされており、シニアクラブとしてなお一層の支援をお願い。また、組織拡大と会員拡大では岐阜地区で15単組加入しているが、25単組が未加入、この2年間で3単組の増加を目標に、現役の地協役員との協力を得ながら組合訪問に努めていく。研修会やハイキング、親睦ゴルフコンペなど昨年同様一人でも多くの方が参加出来るよう



な交流の場を企画する。6年間で31号を発行した機関紙「すこやか号」を内容の充実を図りながら発信に努力する等の運動方針(案)を審議し原案通り承認された。

総会終了後、結成15周年記念祝賀会に移り、宮川明初代会長と共にシニアクラブを結成して早や15年を迎え、会

員数も現在は488人になった。これひとえに、JAM本部の関係者、並びにJAM東海執行委員の皆様のご支援ご協力のおかげで今日を迎えることが出来たことを深く感謝の意を表したいとの北村会長の挨拶の後、来賓の皆様より、心温まる激励のお言葉を頂いた。

励のお言葉を頂いた。我々会員としても、より一層の努力をし、新たな20周年を迎えるよう会員一同誓い合った。

来賓祝辞の後、シニアクラブ三役を長年勤め、機関紙「すこやか号」の作成にご尽力を頂いた川瀬寿前副会長が今期をもって退任さ

れ、北村会長より感謝状を授与し、会場全員の大感謝の拍手でこれまでの労をねぎらった。

総会並びに15周年記念式典終了後には、来賓の皆様を交えた懇親会を実施し、会員相互の親睦と交流を図ることが出来た。

広島

広島シニア日帰り交流会 忘年会で来年の発展を誓う

グラウンドゴルフと懇親会

井上 静夫通信員



広島カープのセリグ優勝で広島の街が真っ赤に燃え、惜しくも日本一には届かず、来年への夢を残した。

広島シニアクラブは、JAM山陽広島県連の敷本会長と山本副会長にも参加をいただき、広島駅から約2時間の

三次市君田温泉・森の泉で11月12日、総勢22人の日帰り交流会を開いた。

年間行事で春は一泊総会、夏は野球観戦、秋は日帰り交流を行っている。今年は、藤川支援のため、昨年の日帰り交流会参加者全員の後援会加入をお願いし、春の総会で確認した野球観戦ではカープと選挙の勝利をめざし会員の団結を誓った。結果は残念ながら議席

に届かず、今後の選挙のあり方、取り組みを再構築しなければならぬ。

今回の日帰り交流会は、午前中はグラウンドゴルフで2ラウンド16ホールと短時間の大会でしたが、晴天の中、日頃の腕前を見せ、優勝は熊平製作所労組OB武知さん、準優勝は日本製鋼所労組OB北原さん、3位はサタケ労組OB中安さんでした。特に、今回はホー

ルインワンを4人が達成するなど大いに盛り上がった大会となった。

午後は、藤川支援のお礼と中間活動報告、来期の活動方針を全会一致で確認し、忘年会を兼ねた懇親会へと移った。懇親会では、恒例のピンゴとカラオケ大会を行い、最後は今年1年間のお疲れと今後の全員の発展を祈念し、最年長の大和重工労組OBの西本さんの乾杯で閉会した。

野津田前参議員の加入で厚み増す 長 JAM甲信役員OB会も発足・加盟

中澤 純雄通信員

JAM長野シニアクラブは10月3日、諏訪市の「ゆうむ25」で約

長野シニアクラブ総会



会長を迎えての開催となった。

挨拶に立った津田前議員は、「私は茅野が地元なので長野シニアクラブの一員です。来年度の総会には参加者側として参加します」と述べた。参加者からは、これまでの豊かな経験を活かし、シニアクラブの活動においても活躍してほしいとの声寄せられた。

活動報告では、9月より新加盟となり、新たに11人が加入したJAM甲信役員OB会の今井事務局長より役員OB会の発足やシニアに加入した経過報告と挨拶があった。

総会の議事終了後には昼食を兼ねて懇親会を実施し親交を深めた。

40人を集め、第16回総会を開催した。

総会では、2016年度の活動報告、規約改正、2017年度の活動計画が確認された。

来賓として、津田弥太郎前参議院議員、JAM甲信執行委員長、山梨シニアクラブ田村